

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務課] P. 238

2201 通学送迎に要する経費 20,406,000 円 (20,559,000 円)

[その他 6,830,000 円 一財 13,576,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 6,830,000 円]

#### ○ 目的

遠距離通学となる児童・生徒の安全な通学手段を確保する。

#### ○ 内容

通学送迎委託料 17,684,000 円

・取手小学校・取手第一中学校(小堀地区)	6,160,000 円
・取手東小学校(小文間地区)	7,920,000 円
・永山小学校(市之代/貝塚地区)	2,772,000 円
・桜が丘小学校(大留地区)	832,000 円

[担当：学務課] P. 238

2301 教育情報機器整備に要する経費 162,069,000 円 (161,289,000 円)

[その他 1,730,000 円 一財 160,339,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 1,730,000 円]

#### ○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。また、GIGA スクール構想実現のためにネットワーク環境管理や ICT 授業支援を行う。

#### ○ 内容

教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築し、ICT を活用した教育活動の推進及び校務事務の効率化並びに個人情報の保護を図る経費である。

・ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料	27,944,000 円
・教育センターシステムクラウド運用管理委託料	8,910,000 円
・教育センターシステムクラウド使用料	41,864,000 円
・教育・校務用パソコン使用料	7,297,000 円
・校務支援システム使用料	8,756,000 円
・教職員用パソコン使用料	42,743,000 円
・アクセスポイント設置工事	1,925,000 円

## 1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 239

2101 奨学生貸付金 3,240,000 円 (3,000,000 円)

[その他 2,566,000 円 一財 674,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:奨学金貸付金元利収入 2,566,000 円 償還者数:15 名]

### ○ 目的

市民の教育の機会均等を図るため、能力があるにもかかわらず、経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付けし、有為な人材を育成する。

### ○ 内容

・新規分 3 人(国・公立 30,000 円/月 私立 40,000 円/月)

・貸付中 4 人(私立 4 人)

合 計 7 人

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる世帯についても、要件を満たす場合は貸し付けの対象とし、随時受け付ける救済措置を行う。

## 1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 240

0501 教育振興に要する経費 72,120,000 円 (65,146,000 円)

[国・県 1,983,000 円 その他 1,305,000 円 一財 68,832,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補:原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,983,000 円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 1,300,000 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 5,000 円]

### ○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。

### ○ 内容

・英語指導助手業務委託料 64,865,000 円

令和3年度から2か年契約で英語指導助手(ALT)14人(中学校6人、小学校8人配置)を民間専門業者に委託している。学習指導要領の改訂に伴い、小学校中学年より外国語活動が導入され、高学年、中学校での外国語科へと接続されていくこととなった。小中学校におけるALTの活用により、生きた外国語や外国文化・生活にふれ、外国語に対する理解を深める機会を児童生徒に提供することによって、外国語によるコミュニケーション能力の育成や国際感覚等の養成を図る。

・学校教育指導員報酬 1,761,000 円

学校への訪問指導や研修会の量的・質的な向上を目指すため、学校教育に対する識見がある者に、適切な指導助言を行ってもらえるよう人材を雇用する。

・地域人材活用事業講師謝礼 606,000 円

地域人材として登録していただき授業を行った市民への講師謝礼。

- ・理科教育用教材購入 1,983,000 円  
原子力・エネルギー教育における理科教育用備品の購入を行う。

[担当：指導課]P.244

**2401 教育相談に要する経費 34,462,000 円 新規**

[その他 29,000 円 一財 34,433,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：雇用保険料本人負担分 29,000 円]

○ 目的

取手市立中学校の生徒の自死事案に係る再発防止策の提言を踏まえ、令和2年4月より(1) 全員担任制(小学校はチーム指導)、(2) 教育相談部会システムの導入、(3) 2学期制の導入からなる取手市の新しい学校教育3つの取組を開始した。

スクールカウンセラー・スーパーバイザーと学校連携支援員が、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで支援できるようサポートしていく。また、学校教育相談員やスクールソーシャルワーカーの専門職により、より適切な支援を行う。

○ 内容

・報酬 11,646,000 円

学校連携支援員、学校教育相談員、スクールソーシャルワーカー、いじめ問題専門委員会委員報酬。

・子どもと親の相談員謝礼 4,160,000 円

小学校14校、中学校6校に配置し、児童生徒及び保護者の悩みや困りごとの相談を受ける有償ボランティアの謝礼。

・教育資質・能力向上研修講師謝礼 640,000 円

教職員の資質向上を図るための講師謝礼。

・スクールロイヤー委託料 1,100,000 円

SNSでのトラブルなど、学校現場における事案の対応について法的な観点での相談助言を行う業務を委託する。

・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料 9,761,000 円

教育相談部会における助言指導や教育総合支援センターでの相談業務を委託する。

・Q-Uテスト実施業務委託料 3,291,000 円

年2回、小学校4・5年生及び中学校1・2年生を対象に学級集団の情報を分析・評価するための学級集団アセスメントアンケートを行う業務を委託する。

・いじめ防止アプリ使用料 726,000 円

いじめの早期発見と抑止を生み出す手段としてスマートフォンを活用したいじめ防止アプリの使用料。

[担当：指導課] P.245

**2501 特色ある新しい学校教育の推進に要する経費 4,932,000 円 (4,932,000 円)**

[その他 3,450,000 円 一財 1,482,000 円]

＊ 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 3,450,000 円]

○ 目的

取手市立山王小学校は令和3年度より小規模特認校へ移行し、小規模校ならではのきめ細やかな教育環境と、小学校6年間をとおして「創造する力、表現する力」を育てる特色ある学校教育プログラムを取手市における学校教育の選択の一つとし、市内から広く転入学児童を受け入れる。

また、本取組をとおして、取手市ならではの新たな特色ある学校教育プログラムを創出するとともに、児童、教職員、地域の方々、専門家等の多様な人材とともにつくる地域の学校の在り方を模索することとおして、取手市の魅力の向上に貢献していく。

○ 内容

- ・アーティストと児童の交流事業委託料 4,932,000 円

[となりのスタジオ]

アーティストが学校に短期滞在し、スタジオを開設する。外国籍のアーティストを招聘し、子供たちは外国語の授業で習得した知識と経験を活用して、日本とは異なる文化的背景をもった隣人として、対話をしたり、一緒に作業をしたりすることとおして、多様な文化、創造のプロセスを体験する。

[大地からはじまること]

自分たちの生活の周りに当たり前にある自然環境から、自分たちの手でものを生み出していくことができることを体感する、年間をとおして取り組むプログラム。校庭の土(普段、気にも留めていないただの土)を採取すること、土を練ること、土器を作陶すること、木を切ることや薪割りをすること、野焼き(焼成)することなどをとおして、教科等で得た知識を体験活動に生かす。

また、体験活動をとおして生じる疑問や課題について改めて教科等の中で探求するような教科と体験活動との間の循環を創出するとともに、社会を理解する多様な視点や価値観への気づきを促す。プログラム設計にあたっては、異学年による取組、教職員、保護者、地域の方々との協働が生まれる運営設計を行う。

[担当：指導課] P.245

4201 日本語指導員に要する経費 2,506,000 円 (2,506,000 円)

[一財 2,506,000 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

○ 内容

会計年度任用職員報酬 6人 2,346,000 円

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

[担当：指導課] P.246

5001 外部施設を活用した水泳学習推進事業に要する経費 22,260,000円

(22,260,000円)

[その他 15,570,000円 一財 6,690,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 15,570,000円]

○ 目的

小学校及び中学校の水泳学習を外部施設の屋内プールを活用し、夏季以外でも水泳学習を行うことにより、計画的・効率的に学習を進め、水泳授業の充実を図る。

○ 内容

市内小学校11校及び中学校6校では、取手グリーンスポーツセンター、民間プールを活用して、水泳学習を行う。児童生徒の移動は、安全面を配慮し借上げバスを利用する。

・水泳学習業務委託料(小学校11校)	9,795,000円
・水泳学習業務委託料(中学校6校)	1,224,000円
・バス借上料(小学校)	10,020,000円
・バス借上料(中学校)	1,221,000円

[担当：指導課] P.246

5301 土曜日学習支援事業に要する経費 506,000円 (506,000円)

[国・県 337,000円 一財 169,000円]

\* 特財積算根拠

[県補:地域の教育支援体制等構築事業補助金 337,000円]

○ 目的

土曜日に、児童に学習の機会と場所を提供し、自ら進んで学習する習慣を身につけるとともに、学力向上を図る。

○ 内容

取手市内の小学校高学年を対象に、児童が持参した学校の課題や教材等で自主学習を行う場所を、福祉会館・永山小コミュニティスペース・藤代庁舎の3会場に設ける。学習を支援する人材として、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアを活用する。

・土曜日学習支援員謝礼 432,000円

## 2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.248

2001 小学校管理に要する経費 245,113,000円 (241,231,000円)

[その他 6,491,000円 一財 238,622,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料:学校開放小学校体育館使用料 1,292,000円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 5,110,000円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 89,000円]

○ 目的

教育環境の充実を図り、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・県の少人数指導加配措置を受けていない小学校に、TT(ティームティーチング)講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎力の定着を図る。 5,535,000 円
- ・支援が必要な児童が在籍する小学校に教育補助員を配置し、学校生活を支援する。 72,841,000 円
- ・学校司書を全小学校に配置し、学校図書室の整備を図る。 14,344,000 円
- ・備品購入(学習机・椅子、遊具等) 5,690,000 円

[担当：保健給食課] P.251

2201 小学校保健衛生に要する経費 27,851,000 円 (27,556,000 円)

[国・県 58,000 円 その他 1,740,000 円 一財 26,053,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 58,000 円]

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金

460 円 × (4,313-529) 人 ÷ 1,740,000 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づく児童の定期健康診断及び労働安全衛生法に基づく教職員の定期健康診断を実施することにより、児童及び教職員の健康保持増進を図る。

○ 内容

主な経費は、児童及び教職員の定期健康診断を実施するための学校医等の報酬及び検診委託料(心臓検査、小児生活習慣病検査、教職員生化学検査等)である。

- ・学校医等報酬 13,582,000 円
- ・児童・教職員集団検診委託料 4,889,000 円
- ・新型コロナウイルス感染症対策児童健康診断消耗品等 1,867,000 円

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.253

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 49,116,000 円 (48,128,000 円)

[国・県 3,629,000 円 一財 45,487,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:要保護児童就学援助費補助金 194,260 円 × 1/2 ÷ 97,000 円]

[国補:特別支援教育就学奨励費補助金 7,064,080 円 × 1/2 ÷ 3,532,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費の援助に要する経費である。入学準備金は、入学時に必要な学用品費を入学前に支給する。

- ・要保護児童数 24 人

- ・準要保護児童数 505 人
- ・入学準備金支給対象人数 80 人

## 2 小学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P. 255

2001 給食運営に要する経費 324,359,000 円 (320,099,000 円)

[その他 176,367,000 円 一財 147,992,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 1,080,000 円]

[諸収入:小学校給食代自校分 175,256,000 円 ※児童月額 4,570 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 31,000 円]

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

主な経費は、賄材料費と学校給食調理業務委託料である。

- ・賄材料費 175,256,000 円
- ・学校給食調理業務委託料 118,137,000 円  
7校分(取手小、白山小、寺原小、永山小、取手西小、戸頭小、高井小)

## 3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P. 257

2001 中学校管理に要する経費 72,232,000 円 (72,734,000 円)

[その他 1,875,000 円 一財 70,357,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料:学校開放中学校体育館使用料 600,000 円]

[使用料:学校開放中学校武道場使用料 108,000 円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 1,130,000 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 37,000 円]

○ 目的

教育環境の充実を図り、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・支援が必要な生徒が在籍する中学校に教育補助員を配置し、学校生活を支援する。 2,429,000 円
- ・学校司書を全中学校に配置し、学校図書室の整備を図る。 6,153,000 円
- ・備品購入(学習机・椅子等) 1,265,000 円

[担当：保健給食課] P. 259

2201 中学校保健衛生に要する経費 14,744,000 円 (14,170,000 円)

[国・県 34,000 円 その他 885,000 円 一財 13,825,000 円]

＊ 特財積算根拠

[国補: 要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 34,000 円]

[負担金: 日本スポーツ振興センター災害給付負担金

460 円 × (2,242-319) 人 ÷ 885,000 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づく生徒の定期健康診断及び労働安全衛生法に基づく教職員の定期健康診断を実施することにより、生徒及び教職員の健康保持増進を図る。

○ 内容

主な経費は、生徒及び教職員の定期健康診断を実施するための学校医等の報酬及び検診委託料(心臓検査、小児生活習慣病検査、教職員生化学検査等)である。

・学校医等報酬	6,175,000 円
・生徒・教職員集団検診委託料	4,109,000 円
・新型コロナウイルス感染症対策生徒健康診断消耗品等	635,000 円

### 3 中学校費 2 教育振興費

[担当: 学務課] P.261

**2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 45,058,000 円 (41,793,000 円)**

[国・県 2,650,000 円 一財 42,408,000 円]

＊ 特財積算根拠

[国補: 要保護生徒就学援助費補助金 571,700 円 × 1/2 ÷ 285,000 円]

[国補: 特別支援教育就学奨励費補助金 4,731,555 円 × 1/2 ÷ 2,365,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対し、教育費の援助を行うことで教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費の援助に要する経費である。入学準備金は、入学時に必要な学用品費を入学前に支給する。

・要保護生徒数	26 人
・準要保護生徒数	293 人
・入学準備金支給対象人数	91 人

[担当: 指導課] P.261

**2401 中学校部活動指導員配置事業に要する経費 4,519,000 円 新規**

[国・県 3,012,000 円 一財 1,507,000 円]

＊ 特財積算根拠

[国補: 中学校部活動指導員配置事業補助金 1,506,000 円]

[県補: 中学校部活動指導員配置事業補助金 1,506,000 円]

○ 目的

専門的技術の高い外部指導者を任用し、持続可能な部活動の円滑な運営と生徒の競技力向上を目指す。



○ 内容

市内 6 中学校に 2 人ずつの部活動指導員を配置し、生徒が専門的な技術の指導を受ける機会を確保する。

・報酬：1 時間 1,120 円×年間 300 時間×12 人＝4,032,000 円

・費用弁償：338 円×120 日×12 人＝487,000 円

(経費の 2/3 を国と県で補助)

### 3 中学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P. 263

2001 給食運営に要する経費 175,460,000 円 (175,601,000 円)

[その他 96,867,000 円 一財 78,593,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 820,000 円]

[諸収入:中学校給食代自校分 96,037,000 円 ※生徒月額 5,080 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 10,000 円]

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図るとともに、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

主な経費は、賄材料費と学校給食調理業務委託料である。

・賄材料費 96,037,000 円

・学校給食調理業務委託料 65,384,000 円

4 校分(取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)

### 4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：保健給食課] P. 266

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 656,000 円 (672,000 円)

[その他 2,000 円 一財 654,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金 162 円×17 人＝2,000 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づき、園児の定期健康診断を実施することで、園児の健康保持増進を図る。

○ 内容

園児の定期健康診断を実施するための園医等の報酬及び検診委託料である。

・園医等報酬 570,000 円

・幼児検診委託料(尿検査) 6,000 円

・新型コロナウイルス感染症対策園児健康診断消耗品等 31,000 円

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：生涯学習課] P. 269

2201 生涯学習推進に要する経費 5,256,000円(4,573,000円)

[その他 900,000円 一財 4,356,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：市民大学講座受講料 900,000円]

### ○ 目的

市民一人ひとりが充実した心豊かな生活を送れるよう、市民の学習ニーズに応えた幅広い学習環境づくりと生涯学習情報の提供を図る。

### ○ 内容

#### (1) 市民大学講座

市民大学は、市民の多様なニーズに応えるため、政治・経済・歴史・文学、さらに哲学・科学・健康・医療まで、専門的な知識を持っている方を講師に招き、学習機会を体系的・継続的に提供し、生涯学習の推進を図る。

また、市民大学講座実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた開催時期や実施方法について、新型コロナウイルス感染症対策を含め、安全な開催に向けて検討していく。

#### (2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」内容をメニューから選択、人材登録されているリーダーバンク登録指導者及び行政職員が講師として地域へ出向き、講座を実施することで市民の学習意欲の充足を図る。

[担当：文化芸術課] P. 270

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,869,000円(4,881,000円)

[その他 1,796,000円 一財 3,073,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 1,796,000円]

### ○ 目的

市民の文化芸術活動を支援する。

また、市主催の文化芸術に関する事業を推進することで、市民文化の発展に寄与する。

### ○ 内容

#### (1) 市主催事業の開催

事業名	開催月	内容
取手美術作家展	6月	身近な地元作家の作品展 委託料 900,000円(取手美術作家展) 小中学生送迎用ギャラリーツアーバス 借上料 357,000円
取手市文化祭	10・11月	市民が日頃行っている文化的活動を集約した 芸能(伎芸)、展示の発表、チャリティ販売等

取手市藤代文化祭	10・11月	委託料 ・取手市文化祭 1,000,000円(取手市文化連盟) ・取手市藤代文化祭 500,000円(取手市藤代文化協会)
取手市民美術展	11・12月	日本画、洋画、彫刻、書、写真、工芸、デザイン部門による一般公募作品展及び小中学校の絵画・デザイン・書の作品展
とりで スクール・アートフェスティバル	1月	市内高等学校7校の芸術教育の作品発表会 委託料 296,000円

(2) 補助金の交付

補助金交付先団体	予算額(円)	内容
よいなかまの会	191,000	運営活動費の助成
取手少年少女合唱団	80,000	運営活動費の助成
取手市文化連盟	488,000	運営活動費及び取手市文化連盟創立50周年記念事業費助成
取手市藤代文化協会	210,000	運営活動費の助成
国際音楽の日コンサート実行委員会	200,000	運営活動費の助成

(3) 文化振興奨励金 60,000円

市民の芸術文化の振興を図るため、取手市又は茨城県の代表として関東規模以上の芸術文化発表会やコンクール等に予選を経て参加する18歳以下の個人又は大学を除く学校等の団体に交付する。

【担当：文化芸術課】 P. 271

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 88,836,000円(88,327,000円)

[一財 88,836,000円]

○ 目的

行政の枠を越えた特色ある運営と円滑な市民会館・福祉会館の管理を行い、市民の文化教養の向上と福祉の増進に寄与する。

○ 内容

指定管理制度により(公財)取手市文化事業団が市民会館・福祉会館の管理運営を行う。

また、今年度より利用者促進のため、市民会館及び福祉会館は祝日も開館する。修繕に関しては、市民会館・福祉会館の緊急修繕等に対応することで利用者の安全を確保する。

主な内訳	予算額(円)	内容
修繕料	400,000	施設修繕
市民会館・福祉会館指定管理料	88,394,000	両施設の管理運営に係る指定管理

【担当：文化芸術課】 P. 271

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 6,694,000円(6,711,000円)

[その他 5,640,000円 一財 1,054,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 3,640,000 円]

[諸収入:宝くじ収益金市町村交付金 2,000,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学取手校地があるという地域性を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化芸術の振興を推進する。

○ 内容

事業名	内容
東京芸術大学卒業・修了作品展及び音楽学部推薦者取手市長賞	(美術部門)東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀作品から2点 (音楽部門)東京芸術大学音楽学部推薦の優秀者から2名それぞれに取手市長賞を授与する。 ・賞賜金 2,000,000 円(500,000 円×4)
ふれあいコンサート	東京芸術大学音楽学部によるコンサートを年2回開催する。(藤代公民館、市民会館を予定)市民会館でのコンサートは、令和3年度の市長賞受賞者が出演予定。 ・出演謝礼 240,000 円 ・著作権演奏使用料 7,000 円
東京芸術大学との文化交流事業委託料	市内の希望する小学校と中学校が、東京芸術大学生による美術・音楽の指導を受ける。 ・美術(小学校) 2,403,000 円 ・音楽(中学校) 1,647,000 円

[担当:文化芸術課] P.272

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 19,121,000 円 (28,158,000 円)

[その他 14,981,000 円 一財 4,140,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 8,460,000 円]

[諸収入:取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,350,000 円]

[諸収入:宝くじ収益金市町村交付金 152,000 円]

[諸収入:井野アーティストヴィレッジ利用料 5,019,000 円]

○ 目的

アートのまち取手の魅力を発信するとともに、東京芸術大学がある地理的環境を活かし他市町村にはない多様な文化芸術によるまちづくりの推進を図る。

○ 内容

東京芸術大学やアート関連団体と連携し、その知識・技術・手法などを活用して、市民を交えた創作事業を実施する。

(1) 取手音楽の日事業委託料 4,000,000 円

「音楽あふれるまち」・「新たな才能を育てる場」の基盤となることを目指し、プロ・アマを問わずジャズ愛好家を一堂に集める音楽イベントを開催する。全国からの人を迎える交流の場とし、音楽からのアプローチによる「アートのあるまち」を発

信する。

- (2) 取手の芸術活動連携サポート事業委託料 770,000 円  
創造力やコミュニケーション力等を高める対話型鑑賞プログラムを実施するとともに、芸術家の活動との連携を深め市内芸術の振興を図る。
- (3) 井野アーティストヴィレッジ施設賃借料(7戸分施設) 5,856,000 円
- (4) JOBAN アートライン協議会負担金 400,000 円
- (5) 取手アートプロジェクト事業運営補助金 3,240,000 円
- (6) 取手アートプロジェクト実行委員会事業運営資金貸付金 1,350,000 円
- (7) ストリートアートステージ作品制作・設置委託料 2,893,000 円  
取手駅東口に設置されている、ストリートアートステージ(野外展示台)に芸大生の制作した芸術作品を展示する。駅前に作品を設置することで、市内外の人々の目に留まり、芸術の発信とアートのあるまちづくりを推進する。

**[担当：文化芸術課] P.273**

**3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 13,624,000 円 (13,747,000 円)**

[その他 3,587,000 円 一財 10,037,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料:アートギャラリー使用料 267,000 円]

[使用料:市民ギャラリー使用料 87,000 円]

[諸収入:宝くじ収益金市町村交付金 3,233,000 円]

○ 目的

美術に関する作品等の発表及びその鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、芸術及び文化の振興に寄与する。

○ 内容

たいけん美じゅつ場 VIVA 内「とりでアートギャラリー」の貸出しを行うとともに、市民の美術作品発表の場として、また市の企画する展示会等、様々な企画展を開催する。また、取手駅と藤代駅の通路に設置された市民ギャラリーの貸出しも行い、市民の作品展示の場を提供する。

- (1) アートギャラリー管理委託料 2,547,000 円
- (2) 施設賃借料 9,686,000 円

**[担当：子ども青少年課] P.274**

**3801 放課後児童対策事業に要する経費 170,544,000 円 (148,104,000 円)**

[国・県 75,702,000 円 その他 37,003,000 円 一財 57,839,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:子ども・子育て支援交付金 99,929,000 円×1/3≒33,309,000 円]

[国補:子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金 60,000 円×1/2=30,000 円]

[県補:子ども・子育て支援交付金 99,929,000 円×1/3≒33,309,000 円]

[県補:放課後児童対策事業補助金 17,870,000 円×2/3×0.76≒9,054,000 円]

[負担金:放課後児童対策事業保護者負担金 36,729,000 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 274,000 円]

○ 目的

市内の小学生を対象に親の就労や学年の区別なく、学校施設等を利用し、平日の放課後や土曜日及び長期休業日等に、放課後子どもクラブを開所することにより、様々な体験活動や異学年間の交流を図るとともに、保育だけでなく教育的な視点を考慮した子ども達の健全育成と子育て支援の充実にを図る。

○ 内容

事業の主な経費は、放課後児童支援員・補助員及びコーディネーター等（会計年度任用職員）の報酬、学習アドバイザー謝礼、クラブ室用消耗品費、取手東・高井・藤代小学校の放課後子どもクラブ運営業務の委託料である。

・放課後児童支援員等報酬(会計年度任用職員)	89,421,000円
・学習アドバイザー謝礼	1,514,000円
・放課後子どもクラブ運営業務委託料	65,877,000円

[担当：生涯学習課] P.275

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 594,000円(594,000円)

[国・県 396,000円 一財 198,000円]

\* 特財積算根拠

[県補:地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 594,000円×2/3 = 396,000円]

○ 目的

取手市訪問型家庭教育支援事業を実施することにより、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支え、地域における家庭教育の充実に図り、子育て家庭や子どもたちを地域社会全体で見守り支える体制の構築に資することを目的とする。

○ 内容

訪問型家庭教育支援協議会を設置し、訪問型家庭教育支援チーム員が家庭教育に関する情報提供を行うことによって家庭での教育力の向上を図る。

- ・家庭教育支援についての評価・助言を行う協議会を開催することにより、事業全体に係る総合調整を行う。
- ・対象者は小学校1学年の子を持つ家庭の保護者。

## 5 社会教育費 2 公民館費

[担当：生涯学習課] P.278

2101 公民館活動に要する経費 1,528,000円(1,523,000円)

[一財 1,528,000円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が14館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実に図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催し、地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

- ・報償費 1,071,000円(各公民館講師謝礼等)

[担当：生涯学習課] P. 278

2301 公民館施設整備に要する経費 23,058,000円 (12,438,000円)

[地方債 13,500,000円 その他 7,990,000円 一財 1,568,000円]

\* 特財積算根拠

[市債：公民館施設整備事業債 18,000,000円×75% = 13,500,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 7,990,000円]

○ 目的

公民館施設の維持管理を行い、利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行う。

・修繕料 4,988,000円(各公民館施設の修繕)

久賀公民館の屋根シートが剥がれ雨漏りが生じ、全体が劣化していることから屋根全体の改修工事を行う。

・工事請負費 18,000,000円(久賀公民館屋根改修工事)

## 5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 279

2001 図書館管理運営に要する経費 103,446,000円 (29,758,000円)

[地方債 76,900,000円 その他 4,100,000円 一財 22,446,000円]

\* 特財積算根拠

[市債：合併特例債 81,000,000円×95%≒76,900,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,100,000円]

○ 目的

多くの市民が訪れる図書館として、安全安心な読書環境を提供するため、施設の維持管理を図る。

○ 内容

取手図書館とふじしろ図書館の、建物・設備の維持管理のための保守点検委託を実施していく。特に、ふじしろ図書館の空調機器が老朽化により安定して稼働できる状態ではないため、空調設備の改修を行う。改修工事については、既設氷蓄熱方式空調設備と既設マルチパッケージの更新さらに、それらに伴う付帯作業を行うものである。

・ふじしろ図書館空調設備改修工事(令和3年度・令和4年度継続事業) 81,000,000円

[担当：図書館] P. 280

2101 図書館活動に要する経費 98,943,000円 (95,826,000円)

[その他 181,000円 一財 98,762,000円]

\* 特財積算根拠

[手数料：コピー手数料 120,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 60,000円]

[諸収入：印刷機使用料 1,000円]

○ 目的

多様化する市民ニーズに適応した図書館サービスを提供するため、各種事業の充実に努める。

○ 内容

図書館及び公民館・駅前窓口等の市民に身近なサテライト施設や、学校連携における迅速な予約本の提供や返却受付を維持するため、引き続き図書館システムの活用、及び図書配送業務を委託する。

また、電子書籍のさらなる拡充を図り、コロナ禍の生活の中でも、自宅等で読書を行うことができる環境を整えるとともに、仕事や子育てなどで図書館を利用することが難しい市民へも働きかけ、サービス提供ができるように普及啓発を図る。

・会計年度任用職員報酬	38,491,000円
・図書配送業務委託料	6,804,000円
・電算機賃借料	34,364,000円
・電子図書館システム使用料	4,400,000円

[担当：図書館] P.281

2201 図書館資料購入に要する経費 28,511,000円 (28,444,000円)

[その他 19,708,000円 一財 8,803,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 19,630,000円]

[諸収入：図書弁償金 43,000円]

[諸収入：広告掲載料 35,000円]

○ 目的

図書館の基本機能である資料提供を遂行するため、必要な図書館資料を収集する。

○ 内容

市民の多様な資料に対するニーズに応えるため、図書館資料の充実を図る。

・定期刊行物等資料購入費（新聞・雑誌等）	3,554,000円
・図書、AV資料購入費	21,822,000円

## 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：生涯学習課] P.282

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 8,399,000円 (7,927,000円)

[その他 192,000円 一財 8,207,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：本陣駐車場使用料 192,000円]

○ 目的

県・市指定文化財である「旧取手宿本陣」の保護・活用により、文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

「旧取手宿本陣」の保存・管理に努め、一般公開を行う。

・管理委託料(防災設備保守点検、庭園維持管理等)	2,143,000円
--------------------------	------------



・公開日受付業務委託料	2,010,000 円
・土地賃借料(史跡、駐車場)	3,580,000 円

[担当：生涯学習課] P.284

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 928,000 円 (1,091,000 円)

[一財 928,000 円]

○ 目的

埋蔵文化財センターを様々な文化財に関する情報発信・収集の拠点施設として活用を図り、市民の郷土史に対する理解と親しみを深め、文化的向上に資する。

○ 内容

市内の埋蔵文化財や歴史資料をテーマとした年 2 回の企画展を実施する。

【主な経費】

・講演会講師謝礼	30,000 円×2 回＝ 60,000 円
・ポスター・パンフレット印刷代	390,500 円×2 回＝781,000 円

## 6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ振興課] P.287

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,060,000 円 (9,060,000 円)

[その他 5,040,000 円 一財 4,020,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 5,040,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することで、市民の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

スポーツ協会・スポーツ少年団の育成支援を図る。

団体名	団体数	会員数	活動内容
スポーツ協会	29 部	4,698 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講習会の開催</li> <li>・視察研修</li> <li>・機関紙の発行</li> <li>・交流会</li> <li>・市主催行事への協力及び参加</li> <li>・競技別大会の企画運営</li> <li>・指導者の育成</li> </ul>
スポーツ少年団	10 連盟 36 単位団	1,197 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年のスポーツ指導</li> <li>・競技別大会、教室の企画運営</li> <li>・認定員養成講習会</li> <li>・取手ブロック近隣市町交流会</li> <li>・市主催行事への協力及び参加</li> <li>・県各講習、研修会への参加</li> </ul>

## 6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ振興課] P. 288

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 123,868,000 円  
(124,778,000 円)

[一財 123,868,000 円]

### ○ 目的

生涯スポーツの拠点となる取手グリーンスポーツセンターの維持・管理を行うことで、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

### ○ 内容

指定管理者による充実した施設管理を行い、利用者の拡大を目指し、市民の健康、体力づくりの拠点としてスポーツ・レクリエーションの普及発展に努める。

グリーンスポーツセンター指定管理料

121,278,000 円(人件費、施設管理費等含む)

火災保険料 467,000 円

敷地賃借料 2,123,000 円

[担当：スポーツ振興課] P. 288

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 41,738,000 円 (39,854,000 円)

[その他 9,007,000 円 一財 32,731,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料:藤代スポーツセンター使用料 9,000,000 円]

[手数料:コピー手数料 3,000 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 2,000 円]

[諸収入:ファクシミリ使用料 1,000 円]

[諸収入:印刷機使用料 1,000 円]

### ○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

### ○ 内容

市民の健康、体力づくりの場としてスポーツ・レクリエーションの普及発展に努める。

修繕料 藤代スポーツセンター散水栓バルブ修繕 176,000 円

作業機械等借上料 スポーツトラクタ・乗用スイーパー借上料 970,200 円

## 6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：保健給食課] P. 292

2001 給食センター運営に要する経費 131,141,000 円 (135,072,000 円)

[その他 117,928,000 円 一財 13,213,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:幼稚園給食代 1,354,000 円 ※月額 4,370 円]

[諸収入:小学校給食代センター分 73,456,000 円 ※月額 4,440 円]

[諸収入:中学校給食代センター分 43,118,000 円 ※月額 4,950 円]

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、望ましい食習慣の形成を図ることを目標に、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

主な経費は、学校給食に要する経費である。

・賄材料費 117,928,000 円

**[担当：保健給食課] P.293**

**2101 給食センター施設整備に要する経費 41,484,000 円 (76,993,000 円)**

[その他 2,700,000 円 一財 38,784,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 2,700,000円]

○ 目的

適正な維持管理と設備の充実により、給食施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費は、施設の維持管理及び設備の改修に要する経費である。

委託料

・給食運搬業務委託料 16,990,000 円

・汚水・排水処理施設清掃点検委託料 2,491,000 円

・ボイラー設備総合管理委託料 1,657,000 円

・生ごみ収集運搬・リサイクル処理業務委託料 1,089,000 円

工事請負費

・調理場内シンク改修工事 3,000,000 円